

不況と言う大嵐がどうやら過ぎていく気配ですが、台風一過の後の被害もまた心配の種であります。明治維新以後の近代日本成立以降も、大正、昭和、平成と幾度かの不況に見舞われております。

しかし不況によって日本経済が壊滅したかといえば、答えはノーであります。経済危機を乗り越えるたびに日本経済は更に成長し、広がりを見せて発展してきた繁栄の歴史があります。

不況とは従来の考え方、手法が疲労して役に立たなくなって起こると思われれます。反面、不況は新しい知恵、新しい技術が生まれる時であるともいえます。いわゆるリストラクチャリングであります。利益を生まない分野を捨て、新たなニーズに応じていくための努力を行うことが大切です。この努力を怠ると商いの生産活動も輝きを失い市場での存在価値をなくしてしまいます。

これまでの歴史を振り返ったとき、人類が何万年かの歴史の中で繁栄してこられたのは、群社会を作りお互いに経験を知恵として活かしお互いに助け合い分かち合って生きてきたからであります。

こうした地域コミュニティづくりの必要性を訴え、本年はその一つとして会員事業所が協力するなか第1回産業フェアを開催し、大成功を収めました。

また、市民ふれあい祭り等、数々のイベントも共催して相乗効果を上げ、合わせて経済効果も先例のない好結果を得た旨の報告を頂いております。

こうした事業展開の一環として、女性会・青年部関係者を中心に呼びかけて「希満塾」を開設。本音で語り、お互いの経験を新しい知恵として活かし、終世の友、師をみつける人づくり塾として緒につき、参加者の多くは不況の中で勇気と自信をつけられております。

こうした活動は、商工会議所の事業に参加する大きなメリットではないでしょうか。何かを与えてくれるのを期待するのではなく、会員の皆さんが商工会議所の持つ組織力、機能、人材をいかに活用されるかあります。

不況を脱出するよき方法の一つはよき相談相手を持つことあります。これからも開かれた会議所を常に心がけ、会員事業所の皆さんのよき相談相手になるよう一層の努力を傾注する所存であります。

いよいよ年末、皆様には揃ってよき年末を送り、よき新年をお迎えください。

今年一年間、ご協力、ご支援ありがとうございました。

※会頭コメントに対するご意見等は次のアドレスまでお寄せ下さい。

kcci@kimitsucci.or.jp